

京岡長

管理事務所やトイレ等計画

長岡京市は、市内の京都縦貫自動車道の高架下を活用し、緑地空間として整備を進める。

調子・友岡地区は、馬の池ゾーン、広場ゾーン、シンボル広場ゾーンを設定。馬の池ゾーンでは馬の池フレーム、ベンチ、植栽、平板ブロック舗装、広場ゾーンでは管理事務所、マシントイレ、駐輪場、植栽、真砂土舗装、シンボ

ル広場ゾーンではスツール、多目的グラウンドとゲートボール場は26年度、多目的広場は27年度に整備する予定。

下海印寺地区は、多目的グラウンドとして防災ベンチ、バスケットゴール、トイレ、マンホールトイレ、植栽、土舗装を整備。ゲートボール場として土舗装、ベンチを整備。多目的広場として池、遊具、ベンチ、植栽、土固化舗装を行う。

奥海印寺地区は、広場ゾーンを中心に、北側と南側をそれぞれならかな斜面緑地ゾーンに設定。広場ゾーンにはベンチ、脱色アスファルト舗装、南北のならかな斜面緑地ゾーンにはそれぞれ駐輪場、植栽を整備する。27年度に整備する予定。

このほか、阪急西山天王山駅・川向井で植栽工を27年度に実施する予定。

26年度社員研修を亀岡で開催 若き担い手が基礎知識等学ぶ

京都府建設業協会



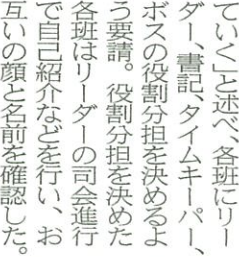
一般社団法人京都府建設業協会(岡野益巳会長)は、10日、26年度社員研修を亀岡市本梅町の畑河で開催。初日の10日は建設業界の基礎知識やビジネスマナーなどを学んだ。一泊し翌日の11日は職場コミュニケーションや建設会社の仕事の流れなどを学習し、成果を発表する。



以下又は入社5年以内の社員を対象に開催。協会事務局職員を含む計46名が参加した。京都府建設業協会の牧野正義氏が研修に先立ち挨拶。「地域の建設業は必要不可欠で重要な産業だが、入職者の減少で深刻な技術者不足により技能継承が困難になっている」「建設業の使命と役割を深く理解しても



京都府建設業協会の南迫貴紀氏が時間厳守など研修期間中のルールを説明した後、(株)日本コンサルタントグループの建設産業研究所



の経営コンサルタント、丸谷正氏が講師となり研修をスタート。丸谷氏は「仕事は1人では完結できず、多くの人と協力してやることになる。同業他社の同期と交流を深める、このような機会はありません。働く上で社外にネットワークを持つことは重要」と研修の意義を訴えた後、「9班に分けグループワークでやっていく」と述べ、各班にリーダー、書記、タイムキーパー、ボスの役割分担を決めるよう要請。役割分担を決めた各班はリーダーの司会進行で自己紹介などを行い、お互いの顔と名前を確認した。



9班に分かれグループワーク

の基礎知識として、建設業、請負産業で労働集約型産業と他の産業との違い、受注・といった建設業の特徴、建設業界の動向などを学習。続いて協働力や柔軟性、表現力など求められる技術者像を学んだ。ビジネスマナーとして、身だしなみ、挨拶や名刺の渡し方、電話応対などを確認した。2日目の11日は、職場内コミュニケーションとして、報告・連絡・相談、指示・命令の受け方、建設業務の知識(引き合いから受注まで、着工から引き渡しまで、アフターメンテナンスと顧客満足)、施工ゲーム(入札・指名・受注から竣工まで、施工管理(品質、原価、工程、安全)などを学習する。最後に個人発表などを行う。

※公告・競争参加資格表記①認定業種等級②点数③許可の種類④営業所⑤施工実績⑥完工高⑦技術者⑧技能者配置⑨その他

近畿地方整備局 近畿技術事務所 簡易公募型 プロポーザル

近畿技術 公示

- ▽公示日 4月11日
- ▽業務名 堤防植生抑制調査等業務
- ▽履行期限 27年2月27日

- ▽担当部局 近畿地方整備局近畿技術事務所経理課 (TEL 072-856-1941)
- ▽説明書等の交付 4月21日まで
- ▽参加表明書の提出期限 4月21日4時

- ▽申請書等の提出 5月2日
- ▽担当部局 近畿地方整備局近畿圏広域地方計画推進資料作成業務(簡易公募型プロポーザル)
- ▽システム科学研究所(特定)

沓掛IC間の整備を進め、25年4月に開通した。高速道路の高架下に大空間が生まれることから、長岡京市は、にそと高架下緑地空間整備事業を立ち上げ、有効活用を図る。同市は26年度当初予算に、にそと高架下緑地空間整備工事として1億1860万円を確保した。

開札日時は5月8日11時。問い合わせは京都市行財一

日4時まで
▽開札日時 6月6日1時30分
▽担当部局 阪神高速道路

新製品建材等のPRは建設業新聞で
07154110330

入札

八田加備に取
配水池
を延長2200mにわ
たつて整備する。管路は
国道372号への埋設が
メインになる。ポンプ場
については、今年度か
ら用地買収に取り組みた
め、早くとも下半期の着
工になる。

全体計画は、園部上水
道事業に八木上水道事業
を統合するとともに、天
引・法京・大河内の3簡
易水道を編入するもの。

天引地区への連絡につ
いては、天引中継加圧ポ
ンプ場を新設するととも
に、φ100mmの送水管
量は日量7794m³(1
日最大給水9756m³)
になる。

配水系統は、船阪配水
池を起点に、本梅地域を
経て、天引簡易水道区域
に接続。さらに、同区域
から大河内簡易水道区域
に至り、その後、法京簡
易水道区域に接続する。

編入に伴い、水源増強
や配水池の新設のほか、
加圧ポンプ場、管路を整

結果



()内は予定価格、金額は税抜

【亀岡市】

▼細谷22番農地外2件
災害復旧工事第51
9・11号、第519・
503号、第519・
504号(電子入札)
(宮前町宮川地内)
ユニバーサル建設
(落)250万4千円

フィールド、ダイショ
ウ、関本組、岡崎建
設、常盤土建、久保建
材、沼田工務店、京營
殖産、曾我部建設、ト
ヨヒロ建設、ツカサ技
建、アトム商事、ヤマ
キ、丹和建材、南丹清
掃、尚栄建設、古谷工
業、芝造園土木興業、
シミズ建設工業、京都
橋本庭園、木曾造園、
イツキ、石田土建、石
田組の35社

▼市道赤熊東大谷線道
路維持修繕工事第19
号(電子入札)(東本

ルド、関本組、シミズ
建設工業、芝造園土木
興業、尚栄建設、南丹
清掃、丹和建材、ヤマ
キ、ダイショウ、岡崎
建設、常盤土建、久保
建材、オフィスワタナ
ベ、沼田工務店、山惣
京営殖産、亀岡学園
前開発、ツカサ技建、
ユニバーサル建設、エ
ムテック、京都橋本庭
園、木曾造園、小塩産
業、美建、西田産業、
匠建、石田土建、石田
組の35社

▼下水水路災害復旧工

古谷工業、友光建設
芝造園土木興業、シミ
ズ建設工業、三協工務
店、尚栄建設、南丹清
掃、丹和建材、ヤマキ、
ダイショウ、関本組
岡崎建設、常盤土建
久保建材、沼田工務店
山惣、京営殖産、曾我
部建設、亀岡学園前開
発、ツカサ技建、ユニ
バーサル建設、エムテッ
ク、京都橋本庭園、木
曾造園、小塩産業、美
建、西田産業、石田土
建、石田組の34社
11日入札

府建設業協会 会員企業対象で新人研修 業界人の基礎を学ぶ 会社枠超え人脈づくりも

府建設業協会



亀岡市で開催された新人研修

(一社)京都府建設業協
会は10・11日、会員企業
の新社員を対象とした

研修会を、亀岡市の京都・
畑河(旧亀岡ハイツ)で
開催した。参加者46人は、

建設業に従事する者とし
ての基礎知識や仕事に取
り組む姿勢などを学ぶと
ともに、会社の枠を超え
た交流による人脈づくり
に励んだ。

技術者の高齢化や若年
者の入職不足によって、
技術・技能の伝達が困難
な状況のなか、正しい知
識と建設業の役割が学べ
る機会を作るために開催
した。

25歳以下または入社5
年以内を対象とした1泊
2日にわたる研修で、1
日目は社会人としての基
本ルールやマナーを学び、
2日目は建設業に従事す
る上での基礎知識をメイ
ンに据えた。講師は、経



講師の丸谷氏

営コンサルタントの丸谷
正氏(建設産業研究所所
属)が務めた。

研修は、参加者を4
5人の班に分けて、グルー
プワーク方式で進められ
た。提起された問題につ
いて、班ごとに話し合っ
て答えを導き出す方式を
採用したもので、建設業
の特徴や業界構造、仕事
の流れを学んだ上で、会
社が新人に求めている事
柄や、職場におけるコミュ

ニケーションの在り方に
ついて話し合った。

また、建設業における
仕事の進め方や知識を
ゲーム方式で学習。指名
入札・受注・竣工までの
一連の流れとともに、品
質や工程・安全などに関
する施工管理体制につい
て、グループで課題に取
り組み、協働意識の重要
性についても体感した。

締めくくりには、2日
間の研修を通して感じた
自分自身が目指すべき将
来像を、参加者全員が発
表。目標に向けて今後1
年間で取り組むべき事や、
他の参加者によって得た
刺激について、それぞれ
が語った。

！ 外壁調査

たとえば、定期調査報告書

建物に応じた適切な調査方法を選ぶことで、
安全・安心・コストダウンもはかれます。



現場に応じた最適な方法をご提



赤外線法調査



→ 適応外でも

ロープアクセス



株式会社

スギテック



0120-27-8856



本社 京都市右京区西京極東大丸町34

東京オフィス